

第2期中川区将来ビジョン（案）に対する区民意見の内容及び区の考え方

第2期中川区将来ビジョンの策定にあたり、案に対する貴重なご意見をいただきありがとうございました。

いただきましたご意見の概要とそれに対する区の考え方は、以下のとおりです。

1 第2章 第1期区将来ビジョンの総括

（1）成果指標の表記について

意 見	区民の割合と表記されているものはアンケートの結果に基づくものと思うが、アンケートの対象者、回収率などについても記載すべきだと思う。
考え方	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 成果指標で利用している区民アンケートの実施時期、対象者、回答率を明記いたします。 （企画経理室）

2 第3章 第2期区将来ビジョンでめざす中川区の将来像

（2）目標値について

意 見	目標値の多くが、令和5年度の実績に対して、毎年約1%ずつ増加させ、令和10年度までに5～6%増やすという目標値となっているが、目標値として低いのではないか。
考え方	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 第2期中川区将来ビジョンにおいては、第1期中川区将来ビジョンで定めた指標で目標未達となったものが多くあった結果を受け止め、堅実な目標値を設定いたしましたのでご理解くださいますよう、よろしくお願いいたします。なお、ご意見を踏まえて、一部の目標値については、見直しをいたしました。 （企画経理室）

(3) 施策1-2 犯罪や交通事故から生命と財産を守るまちについて

意見	中川区は犯罪も交通事故も16区の中でも多い区なのだから、意識の向上をはかるだけではなく、ワースト3位脱却など具体的な指標を掲げるべきではないか。
考え方	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 ご指摘のとおり、中川区は犯罪発生件数、交通事故件数ともに16区の中でも高い水準にあります。 犯罪や交通事故について、ワースト4位以下なら良いというものではなく、究極の目標としては、犯罪ゼロ・交通事故ゼロのまちを目指すべきと考えます。 名古屋市交通安全対策で「道路交通環境の整備」や「道路交通秩序の維持」など掲げている中で、区役所が担うところとしては「交通安全思想の普及徹底」になると考えており、犯罪対策も同様に「意識の向上」を図ることが区役所の担うところと考えております。 (地域力推進室)

(4) 施策3-1 区民のふれあいと交流の促進について

意見	①令和5年の96.4%は「とても良かった(68%)」と「良かった(28%)」の合算。これ以上ないところまで上昇している。 97%を目指すということは現状維持、下がらないようにするということになる。「とても良かった(68%)」を73%に上げるに変更したらどうか？ ②来場者アンケート回答数が114人では少なすぎるとおもいます。スマホやPCからアンケートに応募できるようにパンフレットにQRコードを付ける。 また、回答者に抽選で10人にナッピー・ハボンの景品を贈る。
考え方	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 ご指摘のとおり、区民まつり来場者アンケートにおいて、ここ数年は多くの方に「とても良かった」「良かった」との回答をいただいております。目標値を満足度とする場合、現状維持の数値を設定せざるを得ない状況でございます。ご意見を踏まえて、目標数値を「とても良かった」の数値に変更いたします。 なお、回答数につきましては、例年300部以上を目指しておりますが、令和5年度におきましては、運営面でのトラブルによる十分な数の回答をいただくことができませんでした。今後は、いただいたご意見も参考にしながら、アンケート回収場所を増やすなど、十分な回答数を確保できるよう実施して参ります。 (地域力推進室)

(5) 施策3-2 まちの魅力の発信・発掘について

意見	中川区はこれといった特徴があまり無い区というイメージなので、何か一つ光るものがあれば見方が変わってくるのでは。 例えば、佐屋街道の一部である八幡本通りを特区として変革して行くなど。その他の資源として、中川運河、あおなみ線、前田利家・犬千代ルート、荒子観音など。
考え方	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 中川区には、区名の由来となった中川運河をはじめとした豊かな水辺環境や、「前田利家公」ゆかりの史跡等、様々な魅力や地域資源がございます。令和6年度においては、次代を担う若い世代が区の魅力や歴史を学ぶことで、区への愛着や誇りを持つことを目指し、その第一歩として前田利家公ゆかりの地域資源に気軽に触れてもらうことが出来るような環境整備やイベントを実施します。今後とも、いただいたご意見を参考にしながら、まちの魅力の発信・発掘を行ってまいります。 (地域力推進室)

3 第4章 めざすまちづくりの実現に向けて

(6) DXの推進、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて

意見	デジタル技術を使って、行政として何ができるのか見直してもらいたい。また、SDGsについても、ビジョンの中でどのように体现してくのか知りたい。
考え方	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 デジタル技術の活用については、「第4章 めざすまちづくりの実現に向けて3 DXの推進」で明記しておりますとおり、名古屋市役所DX推進方針（令和4年3月策定）のもと、行政手続きのオンライン化や、簡単でスムーズな「スマート窓口」の導入等、一人ひとりにより適したサービスの提供をめざしていきます。 また、SDGsの達成についても、区役所として積極的に取り組みを進めていきます。第2期中川区将来ビジョンでは、SDGsの達成に寄与すると考えられる「めざすまちづくり」の各項目について該当するSDGsのアイコンを明記しております。 (企画経理室)

4 その他

(7) 外国人との共生について

意見	今後は外国人の居住が多くなると思うが、共生するための施策を明記することも必要だと思う。
考え方	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 第2期中川区将来ビジョンでは、個別に外国人との共生を項目として、明記はしていませんが、性別、年齢、障害の有無、国籍などに関わらず、行政と区民の皆さまとの協働、地域の皆さま同士の連携やつながりが大切であると考え、「つながりづくり♡まちづくり」を合言葉にまちづくりを進めていきます。 (企画経理室)